

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公表番号】特表2002-518346(P2002-518346A)

【公表日】平成14年6月25日(2002.6.25)

【出願番号】特願2000-554400(P2000-554400)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
C 0 7 K	7/06	Z N A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】組成物であって、HLA対立遺伝子特異的結合モチーフを有する免疫原性ペプチドを含有し、該免疫原性ペプチドが、表5および表10に列挙したペプチドからなる群より選択される、組成物。

【請求項2】特異的MHCクラスI対立遺伝子を発現する患者において所定の抗原に対する細胞傷害性T細胞応答を誘導するための組成物であって、該組成物が、表5および表10に列挙したペプチドからなる群より選択される免疫原性ペプチドを含有し、該組成物が、該患者由来の細胞傷害性T細胞と接触させるのに適している、組成物。

【請求項3】表5および表10に列挙したペプチドからなる群より選択される免疫原性ペプチドを含有する、組成物。

【請求項4】患者において所定の抗原に対する細胞傷害性T細胞応答を誘導するための組成物であって、該組成物が、表5および表10に列挙したペプチドからなる群より選択される免疫原性ペプチドを含有し、該組成物が、該患者由来の細胞傷害性T細胞と接触させるのに適している、組成物。